

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年6月2日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【建屋内淡水化装置(B)のスケール防止剤タンクの戻り配管からの漏えいについて】 当社社員が、建屋内淡水化装置(B)スケール防止剤(※)タンク堰内に溜まり水を確認。 調査の結果、溜まり水のpHが2.0であることからスケール防止剤の漏えいと判断。 溜まり水の上部には、スケール防止剤タンクの戻り配管が敷設されており、当該配管からの漏えいと判断。 なお、漏えいしたスケール防止剤は拭き取り済み。 現在漏えいは停止していることを確認。 建屋内淡水化装置のA系は定例点検中、B系は停止中であるが、既設淡水化装置により淡水化処理が代替可能であるため、問題なし。 今後は当該箇所の点検修理を実施予定。</p> <p>※スケール防止剤:水に含まれるケイ酸カルシウム等が配管内で固着(結晶化)したスケールを除去する薬剤。硫酸を使用している。</p>	GⅢ	5月30日